

子どもたちの命を守る 通学路の対策を

河合 克平議員



施工できるものから順次行っていきたい

産業建設部長



▲佐屋西小の危険な通学路(須依町)

問 子どもたちの命を守るため、通学路の安全検証と併せて、どう安全な通学路を確保していくのか。

答 千葉県八街市の事故を、安全対策上、重大な事故と捉え、本市でも学校や保護者、スクールガード、交通指導員、道路管理者、警察などと協力しながら通学路における事故の最大限の防止を目指し、各学校に「通学路緊急点検実施について」を通知し

た。

問 通学路緊急点検の結果は。

答 緊急点検による報告数は、佐屋地区40カ所、立田地区8カ所、八開地区11カ所、佐織地区21カ所の報告があった。

通学路の緊急点検により危険箇所として報告された場所については、警察など関係部署と協議を行い、有効な安全対策を講じたい。

問 いつまでに有効な対策を取るのか。

答 警察等関係部署と協議を行い、施工できるものから順次行っていきたい。

問 佐屋西小学校の通学路と町方地区の交差点は、いつまでにどのように行うのか。市長の見解は。

答 民地等があり、現状での道路構造上の改善は難しい。通学路の変更も考え、危険な箇所を通学路にしない。

通学路の安全対策は重要な課題である。安全上、問題がある箇所は、関係者と現地確認、協議、協力を行い、対応していく。

本庁舎の巡回バスのバス停に屋根を

問 市長は、バス停の屋根についてどう考えているか。

答 特に庁舎のバス停に

については、議員の指摘とおり、バスを待っている市民にとっては、日よけがない、また雨をしのぐ場所がないということで、大変不便をかけていると認識している。

今後は、本庁舎のみの対応をすればいいのか、各停留所の件もあるので、巡回バス検討委員会にて検討してもらい、市として手順に沿って対応していかなければならない。